

いてふ

一般財団法人 防府消化器病センター

防府胃腸病院

防府胃腸病院 広報誌

2019年3月 第23号



人口減少と医療・介護

一般財団法人 防府消化器病センター 防府胃腸病院長 三浦 修

山口県の人口は 1985 年の 160 万人をピークに、その後減少し続けていて現在 136 万人余りとなっています。2045 年には実に 100 万人近くにまで減少するといわれています。高齢化率（総人口に占める 65 歳以上の人口割合）も 2045 年には 40% 近くまで上昇します。

今後、山口県では住民の高齢化と並行して、医師や医療従事者の急速な高齢化が問題となってきます。県内医師の年齢構成は、50 歳代以上の比率が高く、20~30 代医師の比率が低い状況です。特に 35 歳未満の医師については、平成 10 年に比較して、この 18 年間で 215 人減少しています。実に **30% 以上の若い医師が減っています**。

少子超高齢時代を迎え、人口、財政、技術などの医療界を取り巻く背景が大きく変わり、一般的な労働人口も急速に減少します。現在のスピードで高齢化と少子化が進むと、**2025 年には、全国で約 583 万人の労働力が不足する**と予想されています。就労意欲の高い高齢者、あるいは熟練した技能を持った高齢者が生き生きと働ける仕組みの整備や、女性の労働参加促進、外国人の雇用促進と処遇改善などの対策が急務とされています。

国は 2025 年に向けて、持続可能な経済財政の基盤を作ろうとしています。社会保障費の自然増の抑制のために、さらなる**医療・介護のサービス提供体制の適正化、効率化を推し進めています**。今後、医療・介護労働者の需要はますます増加してくると考えられ、山口県の医療・介護を継続させるためにも、若い人たちが生き甲斐を持って、山口県で働き、子育てをし、永く住み続けることができる環境づくり、街づくり、県づくりが喫緊の課題です。



<総胆管結石とは？>



胆石とは胆汁の中に含まれるコレステロールなどが結晶化したり、感染をはらんだりしてできる結石の事です。結石ができる場所によって胆嚢結石・総胆管結石・肝内結石と呼び名が変わりますが、最も多いのが胆嚢結石で約 80%を占めるため、一般的に胆石と言えば胆嚢結石を言います。一方総胆管結石は 20%弱とあまり多くはありませんが、重篤な症状を引き起こすため注意が必要です。

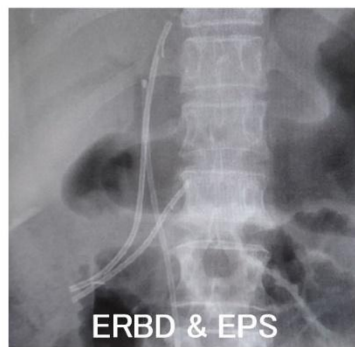
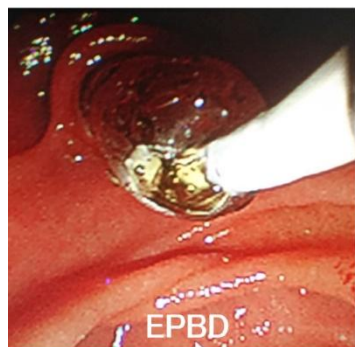
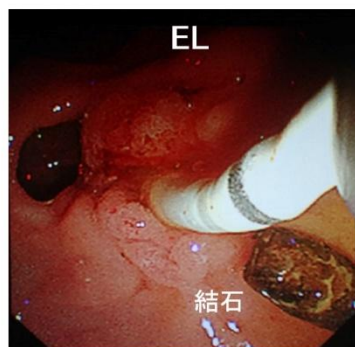
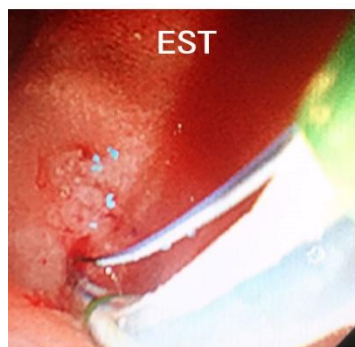
胆嚢結石症は症状が起こらない限り必ずしも治療は必要ありませんが、総胆管という一本道に結石ができた場合、胆汁の流れがせき止められて黄疸や急性胆管炎を引き起こします。急性胆管炎の中でも急性閉塞性化膿性胆管炎(AOSC)は激しい経過をたどり、数日以内に敗血症・DICから死に至ります。こういった事態を避けるために、**総胆管結石は無症状のうちに治療を行うことが推奨されています。**

<総胆管結石の治療方法>

総胆管結石の治療には内視鏡的治療、経皮経肝的治療、外科的治療があげられますが、現在の胆石症診療ガイドラインでは**内視鏡的治療が最も負担が少なく、主たる治療法**とされています。内視鏡治療は多岐にわたりますが、当院での主な流れとしては、まず内視鏡的逆行性膵胆管造影法（endoscopic retrograde cholangiopancreatography: ERCP）を行い総胆管結石の部位や個数を確認した後、内視鏡的乳頭括約筋切開術（endoscopic sphincterotomy : EST）や内視鏡的乳頭バルーン拡張術（endoscopic papillary balloon dilatation : EPBD）で乳頭を広げます。こうすることで、大きな結石も除去しやすくなります。その後種々の道具を用いて結石を除去しますが、場合によっては数回繰り返すことがあります。また、黄疸や重篤な胆管炎を合併

している場合は、短時間で処置を済ませるためにいったん内視鏡的経鼻胆道ドレナージ術（endoscopic nasobiliary drainage : ENBD）を行い経鼻チューブを留置し、症状が落ち着いてから上記の治療を行うことがあります。しかし最近では御高齢の急性胆管炎患者も多く、緊急内視鏡によるENBD チューブの留置でせん妄を起こし自己抜去を起こしてしまうことがあるため、内視鏡的逆行性胆道ドレナージ（endoscopic retrograde biliary drainage : ERBD）を行い、総胆管内にプラスチック製の胆管ステントを留置し胆汁の流れを確保することもあります。内視鏡的治療は手術に比べ侵襲が少なく、短期間に治療を終え退院することができるため、当院でも年々件数が増えてきております。

（詳しくは当院ホームページ <https://www.hofu-icho.or.jp/>をご覧ください。）



第 125 回 健康公開講座のご案内

糖尿病の合併症予防

来る 4 月 17 日(水)、「**糖尿病の合併症予防～わかるとできる、あんなことこんなこと～**」と題して、当院、**糖尿病看護認定看護師の中山法子**が講演いたします。糖尿病と合併症予防のための自己管理についてお話する予定です。皆様ぜひご来場くださいませ。

4 月 17 日 (水) 19:00 開演 アスピラート 3F

当院は、昨年 12 月に地域包括ケア病棟を開設しました。私たちスタッフは防府消化器病センターならではの包括病棟を模索しながら日々看護、支援をしています。『いてふ第 21 号』でお知らせしましたが、当包括病棟ではレスパイト入院の受入れを開始し、少しずつお問い合わせをいただくようになりました。

地域包括ケアシステムにより、在宅で看護、介護を受けながら過ごされる方が増えてきています。しかし、ご家族の方の日々の疲れや、冠婚葬祭、諸事情により在宅での介護や看護が一時的に困難になる場合もあります。そのような時には「レスパイト」小休止、休息、息抜きが必要であり、当院の「レスパイト入院」がご利用になれます。レスパイト入院では多職種で患者様に関わり、患者様が安心して入院生活が送れるよう努めてまいります。また、入院中に ADL が低下しないように、リハビリを受けることも可能ですので、お気軽にご相談ください。私たち地域包括ケア病棟スタッフは、患者様がご自宅に戻られても、今まで通り穏やかに過ごせるよう、在宅復帰に向けて支援してまいります。

先日、当院で初めてレスパイト入院をお受けし、現在もご入院中です。最初は入院生活に戸惑われたご様子もありましたが、リハビリを受けられたり、スタッフとかわかることで今では穏やかに過ごしています。ご家族の方より「介護疲れを癒やすことができる」と感謝の言葉をかけていただき、スタッフ一同嬉しく思っています。

医療的処置がある方で、介護保険のショートステイが利用できない方は、ぜひ当院へお問い合わせください。レスパイト入院についてのお問い合わせは地域医療連携・相談室でお受けしております。地域包括ケア病棟としてまだまだ未熟な病棟ですが、地域の在宅でお過ごしの方の皆さまの役に立てる病棟として成長できるよう努力してまいりますので、よろしくお願い致します。



レスパイト入院申込方法

- ・申込は在宅医(かかりつけ医)、訪問看護ステーション、ケアプラン事業所からの予約申込が必要です。
- ・初回申込時には下記お問合せ先にご連絡のうえ、レスパイト入院についてご相談ください。
- ・レスパイト入院申込時は「**レスパイト入院 予約申込書**」(ホームページよりダウンロード可)に記入して頂き、地域医療連携・相談室へ F A X をお願いいたします。
- ・レスパイト入院申込時は事前に在宅医(かかりつけ医)にご相談して頂き、予約申込書と一緒に「**診療情報提供書**」の F A X をお願いいたします。原本はご入院当日に受付でお渡しください。

入院受け入れが決定しだいご連絡いたします。ベッドの空き状況によりご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

お問合せ先: 地域医療連携・相談室 TEL : 0835-22-3339 (代表)
FAX : 0835-25-8754



外来診療予定表

(2019年4月1日～)

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1 診	松岡	三浦	三浦	松岡	三浦	交代制
	2 診			竹尾	藤原 9:00～		
	3 診	藤原 9:00～	竹尾	柿本	三浦	松岡	交代制
	5 診	柿本	松岡	鴨打	竹尾	鴨打 10:00～	交代制
	6 診	南園	戸田 9:00～	南園	鴨打	柿本	
	肛門外科	宇都宮		宇都宮		宇都宮	
午後	1 診	戸田	休診	戸田	休診	戸田	休診
	肛門外科	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診

診療日時		受付時間	診療時間
平日	午前	8:00～11:00	8:30～
	午後(月・水・金)	13:30～16:30	14:00～
土曜日	午前	8:00～11:00	8:30～

※ 肛門外科：午後は手術等が中心となりますので、外来受診については当日お問い合わせください。
土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。
出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。
担当医が不在の場合は代替りの医師にて診療を行います。



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33

TEL : 0835-22-3339 (代表)

H P : <https://www.hofu-icho.or.jp>



■交通機関のご案内

【電車】 JR 防府駅よりバス 2 分 (防府市役所前下車)

または JR 防府駅より徒歩 10 分

【バス】 防府市役所前下車

【お車】 山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10 分

★地域医療連携・相談室から★

当室では地域連携や在宅医療の充実を図り、患者様が住み慣れた場所でその方らしく生活できるようサポートいたします。お気軽にご相談ください。

TEL:(0835)22-3339 (代表) FAX : (0835) 25-8754 (直通) 担当 : 中村・金子

編集後記

新年、節分そして新年度と 1 年に 3 回も心機一転チャンスのある日本で、早くもその 3 回目を迎えようとしています。安心安全な医療を提供し、当院の理念に基づいて地域医療に貢献できるよう、心して本年度の総括と新年度の計画を仕上げて参りたいと思います。春は様々な新芽・開花の時季となります。菜種梅雨で鬱陶しいときもありますが、桜を呼ぶ慈雨でもあります。さて今年の桜はいかがでしょうか。皆様も春をお楽しみくださいませ。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

事務局長 栗林 左知